

1年生のみなさんへ（校長メッセージ）

1年生のみなさん、こんにちは。はじめまして私は、4月1日から朝霞第二中学校の校長となりました ^{ふたみ}二見 ^{たかひさ}隆久といます。みなさんと同じ二中1年生です。よろしくお願いいたします。

本当は放送でみなさんにあいさつしようかと思ったのですが、学校にいる時間をできるだけ短くするために今日はやめることにしました。あらためて学校が始まって入学式ができたら、お話ししますね。

かわりにみなさんに伝えたい大切なことを書きます。時間があったら読んで下さい。この内容は2・3年生の先輩たちにも伝えました。

まずみなさんに残念なお知らせをしなければなりません。

すでにニュースでも知っていると思いますが、きのう政府が新型コロナウイルスの感染症拡大防止のための緊急事態宣言を出しました。その宣言を受けて朝霞市でも休校を延長して、5月6日まで学校は再びお休みになることになりました。せっかく今日が新たなスタートだと思っていたのがっかりしたと思います。特にみなさんは、6年生の時、3月2日から学校が臨時休校になり、小学校生活の仕上げとなる最後の大切な1ヶ月が急にお休みになってしまいました。私は3月まで朝霞市の教育委員会にいました。実は政府の要請を受けて、朝霞市の小中学校の休校を決めたのは私です。クラスの友達や先生とちゃんとお別れもできず、急に友達とも会えなくなり、学校で最後の思い出作りをするはずだった時間をみなさんから奪ってしまいました。決めた側の一人として、また大人を代表して、みなさんに謝ります。本当にごめんなさい。

さて今日みなさんに伝えたいのは、「主体的に生きよう」ということです。今、世界は大変困難な状況にあります。みなさんも毎日さまざまな情報を得ていると思いますが、私たちは目に見えない「新型コロナウイルス」との戦いのさなかにおいて、世界中で多くの人々が命の危険にさらされています。

当たり前が続くと思っていた日常が突然変わってしまい、明日をも見通せな

い状況になってしまいました。そして世の中には嫌な空気があふれています。マスクやトイレットペーパーを買い占めたり、人を批判や非難する言葉が飛び交ったり、デマや不正確な情報に大人でさえ振り回され右往左往しています。でもこれは決してウィルスのせいだけではありません。今まで見えづらかった人間の弱さがはっきりと表れてきたのだと思います。「自分が自分が」と不安になる気持ちはだれもが持っているものです。でも人を攻撃してもこの状況を乗り越えることはできません。みんなが相手のことを思い協力しなければ、コロナウィルスに打ち勝つことはできません。

そこでお願いです。今日会ったばかりの私がいきなりお願いをするのは変に思うかもしれませんが、でもよく考えてほしい。私からのお願いは、みなさん一人一人に自分で考えて「主体的に生きてほしい」ということです。わかりやすく言います。まずは、「受け止める」。つい数か月前にあった楽しい学校生活や何気ない日々が大きく変わってしまったことを受け止めて、しっかり胸に刻んでほしいのです。友達と会えなかった悲しみ、家から出られなくて退屈した日々、ドタバタする大人を見て変だなあと感じた気持ち、それをしっかりと受け止めてほしい。次に「考える」。本当に大切なことは何か、今何をすればいいのか、何を我慢しなければならないか、苦しんでいたり、困っている人に何ができるか、デマやうわさに振り回されるのではなく、自分の頭でぜひ主体的に考えてください。学校が始まってもしばらくは、以前のような状況にはならないと思います。先生たちも君たちを守るように頑張りますが、少しでも安全で安心な学校生活を送るためには、みなさん自身が自分の頭で考えて行動してもらうことが必要です。それを難しく言うと「主体的に生きる」というのです。

初めから難しい内容でごめんなさいね。これからもしばらく家で過ごす不自由な日々が続きますが、先生方はみなさんが学校に来られる日に向けて一生懸命頑張りますから、みなさんも困難な状況に負けないで、自分の頭で考えて「主体的に」生きてください。

みなさんにまたお会いできる日を楽しみにしています。それまで気をつけて生活して下さい。